

- 時間と人生の本質
  - 主人公 ハンス・カストルプ
    - 従兄を見舞いに
    - 7年もの歳月を過ごす
  - 山の上のサナトリウム
    - 常識が通用しなくなる
    - 不思議な時間感覚になる
    - ⇒ 人生を深く考えるきっかけに
- 病と死の意味
  - サナトリウム（結核療養所）
    - つねに死と隣り合わせ
    - 患者たちとの交流
    - ⇒ 生と死について考える
  - 病との闘い
    - 単なる苦しみではない
    - 人生の本質を見つめ直す貴重な機会
- 教養と精神の成長
  - 二人の男との出会い
    - 人道主義者のセテムブリーニ
    - 神秘主義的なナフタ
  - 二人との議論
    - 単純な二元論を超えた思考力アップ
    - 単なる知識の蓄積ではない